

栄養教諭に関する科目

| 科目区分       | 科目コード        | 科目名          | 単位 | 回数 | 学年 | 開講       | 担当教員           | 摘要     |
|------------|--------------|--------------|----|----|----|----------|----------------|--------|
| 栄養教育に関する科目 | 70010        | 学校栄養教育論      | 2  | 15 | 3  | 前期       | 山口 光枝          |        |
|            | 70020        | 学校栄養実践論      | 2  | 15 | 3  | 後期       | 山口 光枝          |        |
| 教職に関する科目   | 70110        | 教職論          | 2  | 15 | 1  | 前期       | 伊勢 孝之          | 集中（9月） |
|            | 70120        | 教育原理         | 2  | 15 | 1  | 後期       | 安部 貴洋          |        |
|            | 70130        | 教育心理学        | 2  | 15 | 2  | 前期       | 沼山 博           |        |
|            | 70140        | 教育制度論        | 2  | 15 | 2  | 前期       | 下村 一彦          |        |
|            | 70150        | 教育課程・方法論     | 2  | 15 | 2  | 前期       | 朝倉 充彦          |        |
|            | 70160        | 道徳教育・特別活動論   | 2  | 15 | 3  | 前期       | 伊勢 孝之<br>安倍 啓司 |        |
|            | 70170        | 生徒指導論        | 2  | 15 | 3  | 前期       | 沼山 博           |        |
|            | 70180        | 教育相談論        | 2  | 15 | 3  | 後期       | 菊池 武剋          |        |
|            | 70190        | 栄養教育実習       | 1  |    | 4  | 前期       | 笠原・沼山・山口       | 1週間    |
|            | 70200        | 栄養教育実習事前事後指導 | 1  |    | 4  | 前期       | 笠原・沼山・山口       | 集中     |
| 70210      | 教職実践演習（栄養教諭） | 2            | 15 | 4  | 後期 | 笠原・沼山・山口 |                |        |

科目区分：教職に関する科目

| 科目コード | 授業科目名  | 単位 | 担当教員  | 必修<br>選択 | 学年 | 開講<br>時期 |
|-------|--|----|-------|----------|----|----------|
| 70110 | 教職論  | 2  | 伊勢 孝之 | 自由       | 1  | 前期       |
| 授業目的  | <p>教職の持つ意義や教員の役割、研修・サービス・身分保障等を含む教員の職務内容、進路選択に資する各種の機会の提供等、教育職員免許法施行規則に規定されている事項を概説するとともに、中央教育審議会答申や各種報道・世論調査・統計等の客観的資料を用いて、学校をめぐる近年の様々な状況変化について講義や討論を行い、もって、教員に対して社会的要請が強い事柄である教育的愛情、教員としての倫理観・使命感・遵法精神等の涵養を目指す。</p>  |    |       |          |    |          |
| 授業計画  | <p>第1回：教師とは誰か 教師・教職の歴史<br/>           第2回：教師論・教師像 その1<br/>                     シュプランガー；ケルシェンシュタイナー<br/>           第3回：教師論・教師像 その2<br/>                     ブーバー；ボルノー<br/>           第4回：現代の課題と教師 その1<br/>                     中央教育審議会答申に見る教師像<br/>           第5回：現代の課題と教師 その2<br/>                     新聞等に見る教師像<br/>           第6回：教師の職務 その1<br/>                     学級作りと子どもの学び<br/>           第7回：教師の職務 その2<br/>                     教員組織と教育実践<br/>           第8回：教師の職務 その3<br/>                     教科・道徳・特別活動等の学習指導<br/>           第9回：教師と教育法規 その1<br/>                     日本国憲法・教育基本法・学校教育法・同施行規則の規定<br/>           第10回：教師と教育法規 その2<br/>                     地方公務員法・地方教育行政法・教育公務員特例法の規定<br/>           第11回：教師と教育法規 その3<br/>                     県教育委員会の諸規定・通知・パンフレット<br/>           第12回：教師養成制度と研修制度<br/>                     養成・採用・研修（初任者研修・10年研修・免</p> |    |       |          |    |          |

|             |   |
|-------------|---|
|             | <p>許更新制)</p> <p>第13回：教師の専門性と力量<br/>反省的実践家・指導力・カウンセリングマインド</p> <p>第14回：学校経営と教師<br/>学校経営の機能と教師の協働</p> <p>第15回：学校改革と教師<br/>これからの学校のあり方と教師のありかた</p> |
| 成績評価方法      | テスト50%、態度(授業内活動、小テストを含む)50%   |
| 教科書<br>参考文献 | 教科書：特になし。プリントを用意します。<br>参考書：小島弘道他『教師の条件 第2版』(学文社 2006)  |
| 履修の条件       |   |
| 備考          |   |

科目区分：教職に関する科目

| 科目コード | 授業科目名  | 単位 | 担当教員  | 必修<br>選択 | 学年 | 開講<br>時期 |
|-------|--|----|-------|----------|----|----------|
| 70120 | 教育原理   | 2  | 安部 貴洋 | 自由       | 1  | 後期       |
| 授業目的  | <p>本授業は、「教育とは何か」という原理的な視点から、教育の理念や歴史、思想に加え、行政や制度など幅広く教育全般について学び、現代社会における教育の原理とその下での教職の使命を理解することを目的とする。授業の到達目標は、①教育の意義と目的、教育と福祉との関連性を理解すること、②近代教育の思想と歴史を学び、教育の基礎的理念と理論について理解できること、③日本と諸外国の教育制度および教育実践についての知識を得ること、④現代社会における教育の現状と課題について理解することである。</p>   |    |       |          |    |          |
| 授業計画  | <p>第1回：授業概要の説明と授業計画<br/>教育原理を学ぶ理由</p> <p>第2回：教育の意義と目的<br/>教育の本質と人間存在</p> <p>第3回：教育と児童福祉<br/>子どもの人権にかかわる法律と制度（憲法・教育基本法・児童福祉法・子どもの権利条約など）</p> <p>第4回：子どもの社会化と教育の役割<br/>人格形成の基盤としての学校・家庭・地域社会</p> <p>第5回：諸外国の近代教育の思想と歴史（1）<br/>コメニウス、ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルなど</p> <p>第6回：諸外国の近代教育の思想と歴史（2）<br/>ヘルバルト、デューイ、モンテッソーリなど</p> <p>第7回：日本の近代教育の思想と歴史<br/>明治公教育と教育勅語、大正新教育、戦時下の学校と教育</p> <p>第8回：子ども像と教育観の変遷<br/>〈子ども〉期の発見と「教育」の誕生、子どもの世紀と新教育など</p> <p>第9回：教育の制度<br/>学校制度の成立と展開、教育の機会均等原則、学校体系、教育制度改革の動向</p> <p>第10回：教育課程の編成と教育評価</p> |    |       |          |    |          |

|         |  |
|---------|--|
|         | <p>顕在的カリキュラムと隠れたカリキュラム</p> <p>第11回：日本と諸外国の教育実践<br/>知識注入型授業と獲得型授業</p> <p>第12回：現代社会の諸問題と教育課題（1）<br/>教育の病理現象（いじめ、自殺、体罰、不登校、問題行動）</p> <p>第13回：現代社会の諸問題と教育課題（2）<br/>教師と学校の役割（生きる力、確かな学力、開かれた学校づくり、説明責任）</p> <p>第14回：現代社会における教育の理念と教師の役割</p> <p>第15回：理解度の確認と総括</p> |
| 成績評価方法  | <p>テスト 50%、レポート 30%、態度 20%</p> <p>授業への取り組み（意欲・態度）、リアクションペーパー、最終試験などにより総合的に評価します。</p>   |
| 教科書参考文献 | <p>使用しない。適宜、授業資料を配布します。</p> <p>授業時において紹介します。</p>   |
| 履修の条件   |  |
| 備考      |  |

科目区分：教職に関する科目

| 科目コード       | 授業科目名   | 単位 | 担当教員 | 必修<br>選択 | 学年 | 開講<br>時期 |
|-------------|---|----|------|----------|----|----------|
| 70130       | 教育心理学   | 2  | 沼山 博 | 自由       | 2  | 前期       |
| 授業目的        | <p>栄養教諭として必要な教育心理学的知識について概述する。まず人間の発達について、特に栄養教諭が実際にかかわる児童・青年期を中心に解説する。また、人間の学習について、発達との関連、および教授学習の立場から解説する。そのうえで、授業の在り方について、一斉授業のみならず、学び合いやゲーミングなどのグループ学習も含めて、意義や留意点を考察する。障がいのある児童・生徒の特徴やかかわり方についても取り上げる。</p>  |    |      |          |    |          |
| 授業計画        | <p>第1回：教育心理学とは<br/>           第2回：人間発達の様相①－児童期－<br/>           第3回：人間発達の様相②－青年期－<br/>           第4回：人間発達の様相③－児童・青年期の問題行動－<br/>           第5回：人間発達と学習①－遺伝と環境－<br/>           第6回：人間発達と学習②－発達の最近接領域－<br/>           第7回：教授学習の諸問題①－人間の認知と学び－<br/>           第8回：教授学習の諸問題②－動機づけ－<br/>           第9回：教授学習の諸問題③－ルール学習と有意味学習－<br/>           第10回：教授学習の諸問題④－教授学習のプログラミング－<br/>           第12回：さまざまな形態の学び－学び合いやグループ学習という視点－<br/>           第13回：障がいのある児童・生徒の理解<br/>           第14回：障がいのある児童・生徒とのかかわりと学び<br/>           第15回：まとめ</p> |    |      |          |    |          |
| 成績評価<br>方 法 | <p>期末レポート 60%、講義への取り組み（コメントペーパー含む）40%</p>   |    |      |          |    |          |
| 教科書<br>参考文献 | <p>使用しない。講義で適宜資料配布し、参考文献を紹介する。</p>  |    |      |          |    |          |
| 履修の条件       | <p>教育原理、心理学を履修しておくこと。</p>   |    |      |          |    |          |
| 備 考         |   |    |      |          |    |          |

科目区分：教職に関する科目

| 科目コード       | 授業科目名   | 単位 | 担当教員  | 必修<br>選択 | 学年 | 開講<br>時期 |
|-------------|---|----|-------|----------|----|----------|
| 70140       | 教育制度論   | 2  | 下村 一彦 | 自由       | 2  | 前期       |
| 授業目的        | 公教育制度の原理と構造、教育にかかわる法令、教育行政の組織と役割、学校の組織と運営、教育課程行政、現代日本の教育制度改革の動向など教職として必要な知識を獲得すること。   |    |       |          |    |          |
| 授業計画        | 第1回：授業概要と授業計画の説明—教育制度を学ぶことの意味<br>第2回：公教育制度の基本的な原理と組織<br>第3回：教育にかかわる法令の構成と原理<br>第4回：中央教育行政の機構と活動<br>第5回：地方教育行政の組織と機能<br>第6回：教育財政制度の現状と課題<br>第7回：学習指導要領と教育課程の編成のかかわり<br>第8回：教科書制度のしくみと現状、課題<br>第9回：日本の学校制度と就学制度のしくみと特徴<br>第10回：学校の組織と運営にかかわる制度<br>第11回：学校保健と安全にかかわる法令と制度<br>第12回：学校評価と教員評価、教員研修にかかわる制度<br>第13回：学校と教員、子どもにかかわる法令<br>第14回：開かれた学校づくりとその取り組み<br>第15回：まとめ—教育制度を学ぶことの意味を再び考える |    |       |          |    |          |
| 成績評価<br>方 法 | 授業への参加度20%<br>筆記試験80%   |    |       |          |    |          |
| 教科書<br>参考文献 | テキスト：牛渡淳編『改訂版 初めて学ぶ 教育の制度・行政・経営論』金港堂、2014年。<br>参考書：市川須美子他編『教育小六法〈平成27年版〉』   |    |       |          |    |          |
| 履修の条件       |   |    |       |          |    |          |
| 備 考         |   |    |       |          |    |          |

科目区分：教職に関する科目

| 科目コード       | 授業科目名  | 単位 | 担当教員  | 必修<br>選択 | 学年 | 開講<br>時期   |
|-------------|--|----|-------|----------|----|------------|
| 70150       | 教育課程・方法論   | 2  | 朝倉 充彦 | 自由       | 2  | 前期<br>(集中) |
| 授業目的        | 1. 教育課程およびその編成についての基本原理をある実践事例を通して理解する。2. 学習指導要領と教科書制度について理解するとともに、その課題について自らの意見を述べるができるようにする。3. 学級と個人差の問題を中心に教育方法についての理論と実践について理解する。4. 授業でのグループディスカッションやディベートなどにおいて積極的に参加する。  |    |       |          |    |            |
| 授業計画        | 第1回：ガイダンス、教育課程・教育方法とは何か<br>第2回：食といのちを考える教育<br>第3回：食といのちを考える教育実践例<br>第4回：教育課程編成の基本原理<br>第5回：1947年版学習指導要領と経験主義カリキュラム<br>第6回：学習指導要領の変遷<br>第7回：現行学習指導要領の特徴<br>第8回：愛国心、公共の精神等を育てる道徳教育とその指導<br>第9回：教科書とその制度<br>第10回：海外の歴史教科書<br>第11回：教科書制度の課題<br>第12回：学級指導の歴史<br>第13回：学級の学力格差の問題<br>第14回：個別指導の歴史<br>第15回：学級指導と個別指導 |    |       |          |    |            |
| 成績評価<br>方法  | 授業内小レポート 30%。ディスカッション、ディベート等での積極的な意見発表状況 30%。最終課題レポート 40%。   |    |       |          |    |            |
| 教科書<br>参考文献 | 教科書は指定しない。授業でプリント等を配布する。<br>参考書「小学校学習指導要領」文部科学省。   |    |       |          |    |            |
| 履修の条件       |  |    |       |          |    |            |
| 備考          |  |    |       |          |    |            |